

詩人屈原：論説

著者	兒島，献吉郎
雑誌名	龍南會雜誌
巻	8 7
ページ	1 - 8
発行年	1901-10-18
URL	http://hdl.handle.net/2298/5202

前附 本號の正誤

頁 行 誤
二 十五 織
三 八 寧口
三 八 全前
三 十三 なるなし
一 一 本 文
一 一 抹
全 四 政に通せざるなり
二 十一 賈晁二字
四 三 用ひれるものなり
八 二 蓋し現象は
八 七 蓋し現象は
十二 四 行なれ
全 十三 認識
全 五 感化△
全 十三 奮乎百世の上
全 全 興起

正
識
識
全
ざるなし
抹
せるものなり
二子
おるものなり
蓋し此の現象は
脱す
識
有するものなし
力
于
興

頁 行 誤

十三 二 是を是れ
全 全 人力
全 十三 正義で底に
十三 七 宗朝
全 十 つながるや
全 十七 バウロカ
十五 二 聖大
全 十六 聖大
das Liebt
Personlichkeit.....
das Licht
半音を
全 六 有き
全 十八 行
全 十一 本
全 九 十二 女郎女
全 十六 女郎女
二三 六 而ら

正
之れ
人格
心底に
宋
つながるや
が
火
然ら

頁行 誤

二三七 いへるなり。

全一〇 何度もくも。

全一二 玉もかりつ、

二四六 燭逸は

二六八 ロン

全一二 談き

二九二 居る處を

三一〇 椅子

全十一 言ひ合せたに

三二六 意氣軒昂

全七 あらず

三三二 居たけれども共

全六 伶へ

三四七 ヒョットと

全全 可笑しさう

三五一 知らずかう

全七 ましですわ

全一 矢張れ

正

いへるなり。

もは衍

玉もかりつ、

獨逸

ロン

談り

居る處は

椅子

には衍

意氣軒昂

阿らず

居たけれども

例へ

どは衍

うは衍

知らずかく

ましですわ

れは衍

頁行

三九七 被處の

全一七 矢張れ

四〇八 經維市

全一二 伶へ

五九四 天地を

全十 教育や

全十一 政治や

正

彼處の

れは衍

經帷子

例へ

天地と

教育家や

政治家や